

3.4. 三鷹市教育委員会

日 時：平成26年11月14日（金）

場 所：三鷹市教育委員会

対応者：三鷹市教育委員会教育部指導課 教育施策担当課長、統括指導主事

【三鷹市教育委員会の取組み】

1) 三鷹市の政策

三鷹市の教員養成は、市の政策背景と密接に結びついている。三鷹市は40年前からコミュニティづくりに取り組んでいるが、その背景の中、開かれた学校づくりを推進することで学校改革を目指そうと「コミュニティスクール」を導入していった。そこで、地域との連携も不可欠となり、大学関係者にも「コミュニティスクール」の委員を務めてもらうこととなった。市の特徴として、「小・中一貫教育」と「コミュニティスクール」を合わせて行っていることが挙げられる。

また、教員育成も重要な課題となっており、三鷹市の教育基本計画である「三鷹市教育ビジョン2022」には、教育の力量を高めるための最重点施策として「三鷹らしい教育の実現を目指す教員のキャリア支援と人財育成」が掲げられている。ここに位置づけられている「みたか教師力養成講座」は、「三鷹市立学校人財育成方針」にも『「NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構」と共催した事業』と記載されており、教員になる前に「三鷹」に憧れる教員の育成を目指している。

2) 小・中一貫教育制度

三鷹市では、平成18年度から小・中一貫教育制度がスタートした。市内を7つの中学校区に分け、それぞれの学区を「学園」と称してまとめている。

この制度を実施するにあたり、東京都教育委員会から三鷹市内の教員全員に、学園内すべての小・中学校への兼務を命じた発令通知書を交付してもらっている。そのため、三鷹市内の教員全員が、所属学園内すべての学校で勤務することができる。各施設が分離しているので往来が必要だが、時間割に位置付けて定期的に乗り入れを行っている。教員全員が、小・中学校両方の免許を取得しているわけではなく、都に申請して兼務の発令をしてもらっている。

また現在、三鷹市の不登校出現率はとても低くなっている。市内小学校15校で報告されたのは2名のみである。10年前、中学校が大変だったこともあったが、この制度により様々な人が授業に関わった相乗効果から落ち着きを取り戻した。市政もこの制度に協力してくれている。

三鷹市では、全学校に「学校運営協議会」が設置されている。経営の主体は学校長だが、学校長の経営方針は必ず協議会に諮られ、承認を得た上で実施される。

3) 「みたか教師力養成講座」

①講座開講と「NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構」について

平成17年11月、小・中一貫教育制度の「学園」開園に合わせて「みたか教師力養成講座」を開講した。平成18年春には教員採用試験に特化した講座も開講し、三鷹市の先進的な教育政策にふさわしい教員の育成を目指している。

共催している「NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構」は市民大学的なもので、「民・学・産・公」の力を合わせて市民力を高めることを趣旨に、平成17年からスタートした。学校に協力してくれる教育ボランティアの養成講座等も開講している。また、この機構の立ち上げ時に登録してくれた大学の学生が講座を受講する場合は、受講料割引の特典がある。ただし、受講が教員採用試験での特別選考にはならない。

②受講者の選考方法について

まず、第1次選考で書類選考と小論文（教職に向けての思い）を行う。大学生に関しては、担当教員から推薦書も提出してもらう。その後、第2次選考で面接と適性検査を行う。適性検査では、中学生レベルの国語と数学を出題している。中でも面接に重点を置き、特にコミュニケーション能力を重視している。

③講座の内容について

この講座は、基礎コースと実践コースに分かれており、基礎コースは実践コースの一部分と同内容である。基礎コースは大学1・2年生、実践コースは3年生以上を対象としている。最近では、改めて教職を目指す社会人の方や、正規採用を目指す講師経験者等、年齢の高い方の受講も増加している。平成26年度春の講座では、最高齢が49歳だった。

この講座は、2コースとも春と秋に分かれており、年間通して前期後期制の形となっている。実践コースでは、秋の講座で教職に関する基礎的な知識やスキルを学び、春の講座で教員採用試験対策を行う。実際模擬授業を行ったり、授業づくりの視点を学んだりできる。

また、通常の教育実習とは別の視点で特別教育実習を行っている。三鷹市内の公立小・中学校で、約半年間、基本的には週1回（半日～1日）程度の受け入れを行う。主な内容は、授業見学、学習補助、学校行事の補助等。中学校では部活動の指導も行う。長期間にわたって、直接学校現場の様々な場面に触れることができるので、短期間の実習では得られない経験ができる。

この講座の魅力は、「現場の教員による講義」および「実際の学校現場体験」の2点だと考えている。

④担当講師について

講座の担当講師は、教育委員会や学校現場で「授業力・指導力」に定評のある教員にお願いしている。現在、中学校英語の模擬授業を担当している教員は4年目の若手だが、飛び抜けた授業力を持っているので、授業づくりの考え方やポイントを話してもらっている。

また、「NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構」に関わっている大学の教員やNPO法人の方にも、ファシリテーションスキルや表現力、思考力に関する講座を担当していただいている。各講座の閉校式では、企業の方（学校法人国際基督教大学理事長（兼IBM相談役）等）に特別講座を依頼している。

⑤受講者について

受講者数は、目安として20～30名程度で、今年は春22名、秋26名だった。通年の受講者もいれば、試験対策として春だけの受講者もいる。また、東京都の教員採用試験合格者が、即戦力を付けるため秋の講座を受講する場合もある。その他、中学校講師の経験者が小学校に赴任することとなり、経験の薄い小学校について学びなおすケースもある。

受講者は、三鷹周辺のみならず、市外の方も多い。教員養成系大学には、共に教職を目指す仲間がいるが、一般大学だと限られてしまう。一般大学の学生は、この講座を受講すると、同じ志を持った仲間がいるのでとても励みになっている。

受講者は、三鷹でどのような政策が行われているか熟知し、「教員は地域と連携する」という視点を持っている。他市から異動してきた教員は、三鷹の政策に馴染むまで時間がかかる場合がある。そのため、東京の人事権を持っている東京都教育委員会に対し、優秀な受講修了者を三鷹に配置してほしい旨の要望を毎年具申している。

三鷹発

コミュニティ・スクールを 基盤とした小・中一貫教育

◆三鷹市自治基本条例◆

第33条 教育委員会は、地域と連携・協力し、保護者、地域住民等の学校運営への参加を積極的に進めることにより、地域の力を活かし、創意工夫と特色ある学校づくりを行うものとする

2 教育委員会は、地域及び市長と連携協力し、学校を核としたコミュニティづくりを進めるものとする

三鷹市教育ビジョン2022

「人間力」「社会力」の育成を目指して

質の高い教育の提供をどの学校においても保証する 一義務教育9年間に責任をもつ

「人間力」

基礎的な素養を身に付け、自立した一人の人間として考え判断し、豊かに力強く生きていくための総合的な力

「社会力」

社会とのかかわりを持ち、社会の一員としての役割を果たしつつ、適切な人間関係を結び、生きていく力

目標Ⅰ 地域とともに、協働する教育を進めます

コミュニティ・スクールを充実・発展させ、地域とともに子どもたちを育てる教育を推進します

目標Ⅱ 小・中一貫した質の高い学校教育を推進します

三鷹型の小・中一貫教育を充実・発展させ、連続性と系統性のある学習を保障し、子どもたちの義務教育9年間の学びと15歳の姿に責任をもった教育を実現します

目標Ⅲ 学校の経営力と教員の力量を高め、特色ある学園・学校づくりを進めます

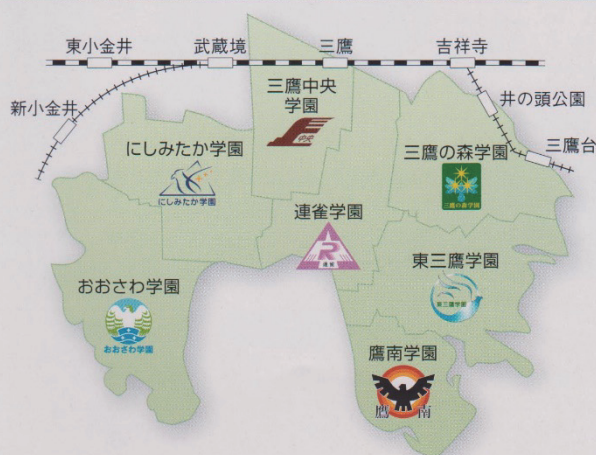
学園・学校経営を円滑かつ効果的に推進できるよう、改善・充実を図り、教員のキャリア支援等を通して、三鷹にふさわしい教員を養成・育成し、子どもたちの学びをより一層豊かにしていきます

目標Ⅳ 安全で快適な、充実した教育環境を整えます

子どもたちが安全・安心な気持ちで快適に過ごせ、効果的な学習ができる教育環境を整備します

目標Ⅴ 地域をつなぐ拠点となる学校をつくります

子どもたちのために、既存の地域社会の全ての力を結集し、それぞれの強みを生かした協働をすすめ、地域をつなぐ、学校を核としたコミュニティを創造します



三鷹市が取り組む小・中一貫教育は、現行制度の枠組みの中で、既存の小・中学校を存続させたまま、コミュニティ・スクールを基盤として、学校と家庭と地域が当事者として「ともに」手を携え、義務教育9年間を通して、子どもたちの「人間力」「社会力」を育てる教育です。

三鷹市教育委員会・三鷹ネットワーク大学共同企画講座「教育・子育て研究所」コース

みたか教師力養成講座 実践コースⅠ

実践コースⅠは、平成27年夏の
東京都教員採用選考合格を目指している大学3年生以上の方。
既に教員免許状を取得済みの方で、教員を志望する方も受講できます。

教員になるまでに身に付
けておきたい内容はもと
より、教員になってから
役立つ課題解決のため
の考え方を鍛える講座
を展開します。

講師は、小・中学校での
現場で実際に教育に携
わっている現役の校長・
副校長・教育実践に優れ
ている教諭等や、教育委
員会での教員の研修等に
あたっているスタッフ等。

8月19日(火)
申込開始!

開催概要

平成26年 平成27年

日程 **10月18日～2月28日(土)**

回数 **14回**

定員 **合計20人程度**

平成27年度に、東京都の公立小・中学校の
教員になることを志望する方。

受講料 **12,000円**

三鷹市在住者、または
三鷹ネットワーク大学推進機構に参加している
大学に在籍する学生は10,000円。

お申し込み方法

申込書類を三鷹ネットワーク大学のHPから
ダウンロードし、必要書類を揃えて提出。

願書提出締切

9月20日(土) 午後9時必着

第1次選考 ▶ 書類・小論文選考

第2次選考 ▶ **10月2日(木) 予定**
面接・適性検査

※詳細は要項をご確認ください

● **提出先・願書提出** に関するお問い合わせは…

NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構
〒181-0013 三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階
TEL. 0422-40-0313

● **講座の内容** に関するお問い合わせは…

三鷹市教育委員会指導課
TEL. 0422-45-1151 (内線3246)

三鷹市教育委員会・三鷹ネットワーク大学共同企画講座「教育・子育て研究所」コース

みたか教師力養成講座 基礎コースⅡ

教職に興味のある大学1・2年生!



教職に興味のある大学1・2年生を対象としたコースです。小・中学校の教員としての心構えや仕事の内容を、三鷹の教育に実際に携わる人たちから学びます。

講師は、小・中学校の現場で実際に教育に携わっている現役の校長・副校長・教育実践に優れている教諭等や、教育委員会での教員の研修等に当たっているスタッフ等。

開催概要

5月10日～9月6日

いずれも土曜日、全7回(通し受講のみ)

※ 詳細は必ず、要項をご確認ください

定員: 10人程度

教職に興味のある大学1・2年生。

受講料: 一般 8,000円

三鷹市在住者または、
三鷹ネットワーク大学推進機構に参加している
大学に在籍する学生は6,000円。



講座の内容に関するお問い合わせは…

三鷹市教育委員会指導課 TEL. 0422-45-1151 (内線3246)

お申し込み

願書提出締切

4月16日(水)午後9時必着

第1次選考 ▶ 書類・小論文選考

第2次選考 ▶ 面接・適性検査
5月1日(木)

※ 詳細は要項をご確認ください

提出先・願書提出に関するお問い合わせ

NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構

〒181-0013 三鷹市下連雀3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

TEL. 0422-40-0313